



## 菅首相・総裁は改憲の動きをさらに進めようとしている

9月16日に首相として指名された菅氏は、その日の記者会見では、憲法改正については触れなかった。前任の安倍氏が、記者会見の都度、改憲に触れたのとはやや違って見えた。

しかし、その前に自民党総裁になっている。その総裁選挙では、「安倍路線の継承」を大きな旗印として掲げていた。前の安倍政権は7年8か月も継続し、全期間を通じて「改憲」を掲げ続けた。その間に、集団的自衛権の行使、戦争法、共謀罪法など、憲法をないがしろにして「戦争のできる国」づくりに大きく踏み出していた。その仕上げとしての「明文改憲」については、「悲願」とまで強調して、2017年5月の「9条への加憲」（第1項、第2項を残し、第3項として「自衛隊」を明記する）提案を行った。自民党はこの9条の変更を含めた「改憲4項目」の提示にまで進めている。しかしながら、安倍前首相の進めるこの方向は、国民から非常に強く警戒され、野党の協力が全く得られず国会の憲法審査会では、全く議論されないままとなっている。

菅総裁の下での自民党役員人事では、衆議院の憲法審査会長（候補）と憲法改正推進本部人事とに大きなテコ入れをしている。審査会長としては細田博之氏を推薦してきた。細田氏は2017年から自民党の憲法改正推進本部長を務め、改憲4項目の「イメージ」をまとめた人物で、安倍氏が属している派閥の長である。また、10月8日の推進本部の会合では、顧問として派閥の長をみんな入れ込んで、菅層から指示を受けたとして、挙党体制をアピールしている。さらに衛藤征士郎・本部長は「イメージ」ではなく条文案を年内にも作成させる方向で数人での起草委員会を10月13日にスタートさせた。具体的な条文で野党側を議論に引き込もうとしている。安倍氏は「在任中に」と期限を区切ったような形で進めてきたが、今度は期限なしで押し込んでくる可能性も出てきている。

こうした動きに対して、九条の会は9月23日、アピール「安倍政権の終わり」と改憲問題の新たな局面を迎えて」の中で、「むろん自民党・改憲勢力はあきらめていません。改めて改憲4項目を掲げ、改憲に拍車をかけようとしています。」と現状を指摘している。上に述べた自民党の動きはこのアピールが出された後のことであるが、指摘通りに攻勢を強めている。

また、安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合は「立憲野党の政策に対する市民連合の要望書ーいのちと人間の尊厳を守る「選択肢」の提示をー」を9月19日に発表し、立憲民主党や共産党などの野党に提示し、次の総選挙に向けての備えを促している。その「I 憲法に基づく政治と主権者に奉仕する政府の確立 1. 立憲主義の再構築」の中で、「安倍政権が進めた安保法制、特定秘密保護法、共謀罪などの、違憲の疑いの濃い法律を廃止する。自民党が進めようとしてきた憲法「改定」とりわけ第9条「改定」に反対し、改憲発議そのものをさせないために全力を尽くす。」としている。

立憲主義を守り憲法九条の改訂を許さないための活動は、これからも重要である。

菅首相の就任記者会見 [https://www.kantei.go.jp/jp/99\\_suga/statement/2020/0916kaiken.html](https://www.kantei.go.jp/jp/99_suga/statement/2020/0916kaiken.html)

九条の会アピール <http://www.9-jo.jp/>

市民連合の政策 <https://shiminrengo.com/archives/3171>

(代田2丁目・伊東 宏)

## ノーベル平和賞に「国連世界食糧計画」！いいね

世界中で飢餓に苦しむ人々が、6億9千万人もいるといわれます。世界中で絶え間なく起こる紛争、経済優先が進める気候変動が原因で、家を失ったり、農作物に被害が出たりして、飢餓に追いやられる人々は増す一方です。今年は、新型コロナウイルスの世界的流行で、100万人を超す死者と3600万人を超える感染者が生じ、世界の経済状況の悪化はとどまりません。

世界食糧計画事務局長のデービッド・ビーズリーさんは「平和なしに飢餓をなくす世界的な目標は達成できない。飢餓が存在する限り平和な世界は存在しえない」と話しています。

ノーベル平和賞がこの団体に授与されることは喜ばしいことですが、世界のどこにも紛争や飢餓が生じないことを願ってやみません。

(代田1丁目・岩瀬 薫)



# 「戦争させない！9条こわすな！せたがや区民集会＆ピースパレード」に参加して

9月26日、世田谷区役所前広場で「戦争させない！9条こわすな！せたがや区民集会」が開催されました。パレードは雨天のため取りやめでした。

代田、代沢、松沢、烏山などの地域の九条の会、世田谷九条の会、都立病院を充実させる会、市民と野党の共闘を支える市民連合めぐろ・せたがや、区役所や企業、地域の労働組合、区議会議員、都議会議員、国会議員など100名余が雨を押して結集しました。

集会の10日前、総辞職した安倍政権の後継として菅前官房庁長官が首班指名され、菅政権が発足しました。菅政権は、安倍政権の継承を表明するだけで、政見（所信）を表明することもなく、安倍亜流の政治をはじめています。森友学園問題に関する公文書の隠蔽と改ざんや桜を見る会の疑惑について、国民には一言も語りません。破綻したアベノミクスにも反省の弁もなく、引き継ぐと言うだけです。

日米関係では、戦争兵器の爆買の約束など、米国・トランプ言いなりの路線をひた走っています。自民党内の人事は、改憲に向けた前めりの配置が敷かれ、改憲へ邁進する意思表示を露わにしています。

集会に参加して、「安心して暮らせる社会にするため、コロナ禍で見てきた貧弱な医療の体制を立て直すため、憲法九条を抛り所に平和を築くため、1日も早く安倍亜流の管政権を交代させなくてはならない」との想いを強くしました。

集会で立憲民主党の手塚衆院議員と落合衆院議員は「管政権は安倍首相がいない安倍政権そのものだ。変えなければならない。きたるべき選挙では、大きな一致点で団結して野党共闘で勝利しよう」と決意を語りました。

政権を交代させ、野党が連合して政権をとる機会が目前に迫っています。代田九条の会も、改憲を阻止するために、九条改憲反対の署名やアピールを、コロナ禍ではありますが、工夫して地域に広げていきたいと思えます。



(代田2丁目・坂本 功)

## 集会等の紹介

\*\*以下の案内があります。今後の状況によっては中止されることもありますので、ご注意ください。

**代田・九条の会の12周年記念のつどいは中止いたします。**

**ニュース11月号で、特集を組みますので、皆様からの寄稿をお待ちします。**

11月7日(土) 午後1時半～ 世田谷・九条の会15周年のつどい

講演：丸山重威さん(ジャーナリスト・関東学院大学教授)

会場：梅ヶ丘パークホール

主催：世田谷・九条の会

\*\* 10月7日に予定されていた、

**市民大集会 「私たちは戦争を許さない — 安保法制の憲法違反を訴える —」**  
は、2021年1月21日(木)に変更されました。

## 日本国憲法 (抜粋)

### 第二章 戦争の放棄

第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

○2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。



～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、  
「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～  
+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++